

滋賀県商工観光労働部版 私たちのSDGs行動宣言！



『SDGs』とは、持続可能な社会をつくるために、2030年までに発展途上国だけでなく、先進国も含めた国際社会が達成を目指して取り組むべき17の目標のことで、2015年9月の国連サミットで採択され、経済成長、社会的包摂、環境保護という3つの課題を統合的に解決することが求められています。

【宣言文】

私たちは、持続可能な社会の実現に向けて、SDGsに取り組むことを宣言します！

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう
貧困をなくそう	飢餓をゼロに	すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	ジェンダー平等を実現しよう	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基盤をつくろう	人や国の不平等をなくそう	住み続けられるまちづくりを	つくる責任つかう責任	気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさを守ろう	平和と公正をすべての人に	パートナーシップで目標を達成しよう

家庭で！

私たちは、次のアクションに取り組み、共感の輪を広げていきます！

	できる家事は積極的に行い、子供にも手伝いを快くようしつけ、家族全員が思いやりの心を持つよう心がける。		家族で家事や育児を分担するとともに、子どもとのコミュニケーションを大切にします。		常に省エネを意識し、不要な照明の消灯や保温便器の蓋とじなどの節電に努める。		不要物の廃棄においては、リサイクル出来るものをしっかりと分別する。
	常に省エネを意識し、不要な照明の消灯など節電に努める。		休日にスポーツ等の運動を行うように努める。		食品や日用品について、環境負荷低減を謳う商品が必要な分だけ購入するよう心がける。		食器を洗うときに貯め洗いをして、水を流し放しにしない。
	食品を廃棄することのないよう、買いすぎない、作りすぎない、好き嫌いをしない。		家族で家事や育児を分担するとともに、子どもとのコミュニケーションを大切にします。		水道使用時に蛇口やカラから流しっぱなしにしないよう注意し、節水に努める。		水道使用時に蛇口やカラから流しっぱなしにしないよう注意し、節水に努める。
	水道使用時に蛇口やカラから流しっぱなしにしないよう注意し、節水に努める。		不要な照明の消灯などの節電や、水の出しっぱなし(シャワー・蛇口等)に注意し節水に努め、省エネを実践する。		食料品の買物にはマイバックを使用する		おいし・うれしが農産品などの地元産品を優先的に購入する。
	食品を廃棄することのないよう、買いだめを控える。		家族で家事を分担し、家族で助け合うことで、思いやりの気持ちを育む。		食品を廃棄することのないよう、買いだめを控える。		安全安心な地元の食材を活用すると共に、食品ロスのないように無駄な買い物はしないようにする。
	過剰包装物の購入を避ける。フェアトレード商品を購入するなど、「買い消費者」として行動を心がける。		近隣は自家車の使用を控え、徒歩または自転車移動する。		食品を廃棄することのないよう、買いだめを控える。		エンカル消費に配慮し、生活に必要な商品を購入する。